

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2019_06_29 新潟会場）

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 70、アンケート回収 59

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	2	新潟日報 2
ちらし・DM	21	
友人・知人の紹介	14	
ウェブサイト・ブログ	14	当財団 HP 4、県立図書館 HP 4
メールリスト	1	
その他	7	図書館 3、学校 2、職場 2
合計	59	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
47	11	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・最新のデータに基づくものばかりであり、説得力があります。 ・LD についての内容があり、納得のいくものが多くありました。 ・河野先生のお話が大変分かりやすく、勉強になりました。 ・学習障害についての考え方を再確認できた。もっと深く知ることができればうれしい。 ・ディスレクシアについて参考文献を読みたいと思いました。また、詳しく内容を知ることができました。 ・実践の様子から、学習障害等々いろいろな角度から話が聞けて良かった。 ・どのお話も大変ためになりました。特に「学習障害って…」においては、読み書き障害について詳しく分かりやすい内容でした。 ・DAISY 図書の具体的な活用方法やディスレクシアの子どもたちへの支援について自分の明確なビジョンを持つことができました。 ・学校図書について詳しく知ることができた。読み書き障害の人の視覚について詳しく知ることができた。 ・障害児教育について具体的に知ることができて良かったです。面出しするなど通常でも参考になりました。 ・障害者サービスの内容、最近の動向を詳しく伺うことができ、勉強になった。他校の図書館経営やディスレクシアのことを学ぶことができ、参考になった。 ・現物の展示、講師どなたの話もたいへん分かりやすかった。 ・講師の先生方のわかりやすいご説明で、一つ一つがよく分かりました。 ・いろんな角度からお話を伺うことができて良かったです。

- ・様々な講座があり、図書館に関わる最新の情報をたくさんお聞きすることができた。
- ・特別支援学校で図書館を担当しています。図書館の運営やDAISYの活用事例など、とても参考になりました。
- ・三人三様のお話で理解が深まりました。困っている子どもたちのために、何ができるのか常に考えていきたいというきっかけをいただきました。
- ・様々な立場の方からお話を伺うことができ、とても楽しかったです。明日から具体的にどう考え、子どもたちに何をしていくことができるのか、考える良い機会になりました。
- ・様々な角度から、専門的なお話を聞くことが出来、大変勉強になりました。それをふまえて、参加者の方々と少し意見交換できる時間もあると、更に今後の業務にも生かせるのではないかと思います。しかしながら、普段聞くことのできないお話を1日で聞けたことはとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・図書の見点からの特別支援の話が新鮮でした。河野先生めあてでしたが、どのお話も興味深かったですし、財団についても理解しました。素晴らしい取り組みありがとうございます。今後ともよろしく願います。
- ・先生方のお話が実践的、具体的で分かりやすかったです。DAISYについての知識も深まりました。河野先生のディスレクシア、学習支援のお話はあと1時間くらい聞きたかったです。
- ・それぞれの方の発表、大変興味深く聞かせていただきました。伊藤忠記念財団の方の「作って配るだけではダメ。仲間づくり、同志をつくる」、野口先生の「他機関との連携」という言葉が印象に残りました。様々な立場、視点でのお話と発表、有意義でした。学習障害(読み書き障害)の話は初めて聞きました。とても分かりやすかったです。
- ・読書活動に関するいろいろな研修がありますが、通常読書が困難な児童、生徒、一般の方々の困難の様子や支援の方法を知ることができ、とても勉強になりました。特に本多先生の取り組みには頭が下がり、感動しました。
- ・マルチメディア DAISYについて知ることができました。実際に触れることができたので良かった。障害者サービス、公共、学校について理解することができました。特に学習障害について大変勉強になりました。全ての方が利用できる図書館、とても大切であると改めて認識しました。
- ・歴史、学校の状況、読書の困難さとはどのようなことかなど多岐にわたって学ぶことができた。これからどのような支援が必要か考えていく基礎を作ってもらったと思う。DAISYの実物、LLブック、リーディングトラックもいろいろ見ることができた。
- ・午前中だけの参加でしたが、野口先生のお話は、とても分かりやすかったです。様々なサービスの紹介があり、良かったです。
- ・半日の参加でしたが、本多先生のキャラバン隊のお話、河野先生の学習障害のお話、とても分かりやすかったです。支援機器を広めるにはどうしたらいいか、電子書籍を使用することに、二の足を踏んでいる保護者にどう伝えていいか、ヒントをもらえたように思います。ありがとうございました。
- ・視覚障害者さんたちのことは知っていますが(音訳ボランティアをしています)、ほかの障害者さんのことを知る、よい機会をありがとうございました。
- ・視覚障害者へのボランティア活動に参加していますが、もっと広い視野での活動を教えていただき、参考になりました。
- ・今年から図書館勤務となり、見ること、聞くこと、すべて新鮮です。今後ともよろしく願います。
- ・素晴らしい取組、実践、考え方等々を知ることができた。誰でも読書による楽しい時間を持って欲しいと私も願っています。改良を重ねられたり勉強したり本当に素晴らしいと思いました。
- ・DAISYとアクセスリーディングに興味があり、参加しました。また、書字障害に興味があり、大変勉強になりました。また、県立図書館でもこのような取り組みがあることにいい意味で驚きました。このような学習会にまた参加したいです。
- ・具体的な事例や知識を学ぶことができた。職場でしっかり伝達します。

- ・マルチメディア DAISY についてよく理解することができました。また、ディスレクシアについての理解が深まった。今後の業務に十分生かせる内容でした。
- ・読みの困難さやバリアフリーの手段を学ぶことができた。最新の情報とこの先の展望を知れた。地方では、このような研修を受けることが難しいので貴重な機会になった。
- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応える必要があるという考え方に気づいた。利用者と手を携えて取り組むという考え方が大切と思った。様々な媒体やサービスがあることが分かった。
- ・マルチメディア DAISY など、知識としては知っていたが、実際に触れてみたり、教育の場での活用例を知ることができて良かった。障害者サービスについて、この講座に参加するまでは、心身に障害のある人へのサービスが大部分であると思っていたので、違うということが知れて良かった。
- ・市内の公立小学校で 19 年間、月 1 回の読み聞かせを続けています。各学級では通級しながら支援学級で学んでいる子どもたちもやって来ます。いつもクラスの子どもたちの後ろで聞いています。今私が読んでいる絵本がその子にとって楽しいものなのか。クラスの子どもと一緒にいるというだけのことならもっと別な方法でその子たちにも本を手渡し共に楽しめるのではないかという思いがありました。読み聞かせを別の面から考えてみたく、昨年秋から通信課程で司書の勉強を始め 1 教科の試験結果待ちで司書資格が取れます。仕事をしながらの学びは時間との戦いでもありましたが、有意義な時間でした。その中で図書館サービスの障がい者サービスで学んだことがタイムリーで深めることができました。DAISY ももっと知りたかったことでしたので、その成り立ちから現在まで知ることができて貴重でした。
- ・実践的に明日から活かせることがたくさんあり感謝しております。わいわい文庫、職場で管理職と話し、OK をいただいたら申し込みます。
- ・特別支援学級(知的)を担当しています。DAISY の導入を検討していたので、具体的な実践の話が聞けて良かったです。わいわい文庫の CD 申し込みたいです。河野先生の講演、とてもわかりやすく役立ちました。
- ・読書バリアフリーについての知見を広げることができました。機会があればわいわい文庫を利用させてもらいたいと思いました。申し込みします。
- ・資料が各講師のお話にそっていたので、分かりやすかった
- ・矢部先生の熱い想いに感動しました。ありがとうございました。参加してよかったです！
- ・マルチメディア DAISY 図書について存在は知っているものの、内容は全く分からず、なんとなく遠ざけていましたが、今回の講座に参加して理解することができました。また、伊藤忠記念財団の設立も知ることができて良かったです。伊藤忠のお二人の熱意をひしひしと感じ、子どものためにがんばる大人になんだか感動してしまいました。
- ・DAISY 図書をどのように活用するか、またどのように職員にその存在を知らせていくかが具体的に分かって良かったです。障害のある子に対してどのように支援していくかについても先生方の講演を通して今まで以上に考えることができました。また伊藤忠記念財団のお二人の「みんなに読む喜びと楽しさを」という熱い思いが伝わってきて、とてもいい研修の機会をいただいたと思いました。
- ・未記入 3

やや満足の理由

- ・終日参加できず残念でした。
- ・全体が分かりやすかったです。
- ・DAISY 図書とはどんなものか知りたかったのです。
- ・特別支援学級の担任ですが、わいわい文庫、ぜひ試してみようと思います。団体で申し込みなので、司書の先生にお願いします。
- ・わいわい文庫の音訳のお手伝いをさせていただいています。音ボラ参加等で情報は得ておりますが、同じ情報が広く全ての人たちに定着されることを願っています。

- ・河野先生のお話が新潟県内で聞いたこと。
- ・普通のLDのお子さんたちへの支援として、DAISY教科書を利用していますが、それ以外のお子さんたちの支援の中にもデージー図書が活用できることが先生方のお話から伝わってきました。ありがとうございました。
- ・野口教授の講演はとても良かった。視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律の内容をだいぶ理解できた。
- ・野口先生の講演が図書館利用に障害がある人に向けたサービスの歴史と最近の動向がどうなっているのかを理解するのにとても分かりやすかったため。
- ・都立鹿本学園での具体的な取り組みや活用例を紹介していただき、これからの実践の参考にすることができた。河野先生の学習障害のお話は、これまで聞いた学習障害のお話の中でもいちばん具体的で分かりやすかった。
- ・様々な身体他障害のある方の不自由解消に関心があり、「少しの工夫で、他の人と同じことができる」その小さな発想の転換、工夫をいかに当事者個人一人一人と話し、ニーズや一人一人に合った要望を引き出して、その解消、解決方法を考えるかが大切かを改めて感じました。新しい発見と再発見、気づきが多々ありました。

やや不満の理由

- ・本多先生の講座においては、パソコン操作の人がついてあげればよりスムーズな進行ができたのではないかと思いました。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・また新潟にいらしてください。
- ・また機会があればぜひ参加したい楽しい会でした。
- ・こういった勉強する機会がもっと増えたら嬉しいです。
- ・また新潟で開催してください。次は職場の人を道づれに参加します。
- ・新潟でぜひまたこの研修会を開催して欲しいと思いました。とてもためになりました。
- ・またこのような機会がありましたら参加してみたいです。ユニバーサルデザインの実践等、また図書館利用、障害者からの実際の声なども聞いてみたいと感じました。
- ・学校図書室にボランティアとして活動している私たちが支援学級の子どもたちと一緒に本を楽しめるために何ができるか、今後もこのような催し事の開催を望みます。「未来をつくる図書館」を読んだ後だけにこれからの公共図書館、学校図書館の障がい者サービスを考える良い機会となりました。「ありがとうフォルカ先生」は読み聞かせもし、購入もしていますが、「学ぶ道具を文字ではなく他のものに替える」という視点は知らなかったことでした。代読、代筆という支援が、当たり前になることを願います。
- ・マルチメディア DAISY の利用促進から一歩進め、子どもの進捗に合わせた対応策が知りたい。
- ・できれば視覚障害者…法律について。私はテキストデージーのボランティアとして、財政の支援等が今後どうなるのか、地方交付税なのでボランティアまで回ってくるか心配です。その辺の話を聞きたかった。
- ・図書館の関係の方々はもちろん、学校職員や教育リハビリを学んでいる学生にも聞いてほしいなと思いました。
- ・やはりマルチメディア DAISY は操作性など「知る人ぞ知る」ところがまだまだ多いと思います。今回のような講座を通して周知がすすみ、また私たちが広報することですそ野が広がることを願います。
- ・県立図書館でのデモンストレーションだけでなく、各市町村公共図書館、利用者さんにも行きわたるよう尚一層の頑張りを望みます。世の中の進歩がこまかく数値化されていくのか？驚くことばかりです。
- ・チラシを配布する範囲について再考してはどうか(教育委員会、学校、特別支援学校等にも)。司書の方に

教えていただくまでこの情報を知らなかったのもっと知らせたほうが良いのでは…と思いました。

- ・マルチメディア DAISY を市の特支教育センターや総合教育センターにも置いて、各学校への貸出が容易になると思う。
- ・数学障害に近い状態で困っております。わいわい文庫には数学分野がないように見えたので、これから増えるといいなと思っています。
- ・何か利用できそうだと希望がもらえて良かったです。
- ・熱いお話を聞くことができました。がんばって読んでごらんと言ってきた子どもたちに何人障害を持った子がいたのか考えてしまいました。これ以上本を悲しい想いで見る子を増やさないようにと思いました。
- ・マルチメディア DAISY 図書をぜひ活用していきたいと思いました。
- ・展示されていたLLブックは新鮮でした。さっそく数冊ネットで注文しました。
- ・使ってみないと本人にも支援者にも合うかどうかわからないので、まず使ってみたい！と思いました。
- ・わいわい文庫活用術の冊子の中身が学校での実践に役立たせることができそうです。とても良いお土産をいただきました。
- ・わいわい文庫は小学校にも寄贈にいただけるのでしょうか？通級担当なのですが使ってみたいと思いました(小2でひらがなしか一文字読みできない子、漢字が書けない子等々が在籍しています)。
- ・マルチメディア DAISY を当施設の利用者にもぜひ紹介したい。全国の特別支援学校に、無償配布されているとのことですが、障害者施設への無償配布あるいは有償提供はないのでしょうか？
- ・発達障害のことが少し分かったのが良かったです。
- ・学習障害について大変よく理解できました。自分の支援方法を見直すいい機会になりました。
- ・熱いお話を聞くことができました。がんばって読んでごらんと言ってきた子どもたちに何人障害を持った子がいたのか考えてしまいました。これ以上本を悲しい想いで見る子を増やさないようにと思いました。
- ・社会生活を進めていく上で、基本的研究の重要性を認識できた。地味な作業であるけれど…。
- ・日常の生活だけで体験しきれないいろいろな世界があることを本を通して学ぶことは、子どもにとって大きな良い刺激となることをディスレクシアのある息子を通して学びました。その中で音声図書の有効性を実感しています。もっとたくさんの人に音声図書が認識されますように。
- ・サピエなどなどは視覚障害者情報センターは視覚障害者さんのみですが、ここでは高齢者なども利用できるとお聞きし、これから自分も読み書きが難しくなったら利用させてもらえたいと思います。これからの子どもさんたちの将来のために頑張ってください。微力ながらお手伝いさせていただきます。
- ・普通高校の学校司書をやっており、自らの仕事に行き詰まりを感じていたのも、思いついて参加してみました。学生時代以来数十年ぶりに障害者サービスの話を聞き、新しい形での資料提供が身近でも行われていることを知ることができ、有意義でした(自分には無縁と思っていたので不勉強だったもので)。展示されていたLLブックのような資料は、中学、高校生世代の生徒に提供するのに分かりやすくていいなあと思いました。今後YAサービス、20代、30代へ読書をつなぐ取り組みを考える中でいい形だと思います。あと昼休みのビデオは図書館の現職者としてじっくり見たいです。
- ・もう少しマイクの音量を下げてください。
- ・講演を全て50分で統一しなくても良いのでは。もう少しコンパクトにして、午前か午後どちらかだけにしてもらった方が日程的に参加しやすいと感じます。
- ・DAISYは学校にも家庭にもタブレットでないと難しいことと、アクセスリーディングは申請が難しいと思いました。入口の敷居が高いとも思いました(申請や費用面等)。
- ・「わいわい」の矢部さん、中村さんのご努力に感謝します。
- ・伊藤忠記念財団のみなさんや県立図書館のみなさんの熱意がとても伝わってくる、素敵な研修でした。このような機会に参加できて良かったです。
- ・伊藤忠記念財団の皆様の活動、素晴らしいです。熱い思いが伝わりました。このような研修を受講させていただき、感謝しています。

・日頃特別支援に関わっていますが、改めていろいろなところでいろいろな良いことに取り組んでいる方々がいらっしゃることを感じ、また自分も頑張らねばと思いました。図書へのアクセスの重要性を広めていければと思います。事務局のお二人の熱意が伝わってきました。これからもどうかご活躍を。

・未記入：28